

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算

決算説明会

2025年10月29日

株式会社 トクヤマ



2026年3月期 第2四半期決算のポイント

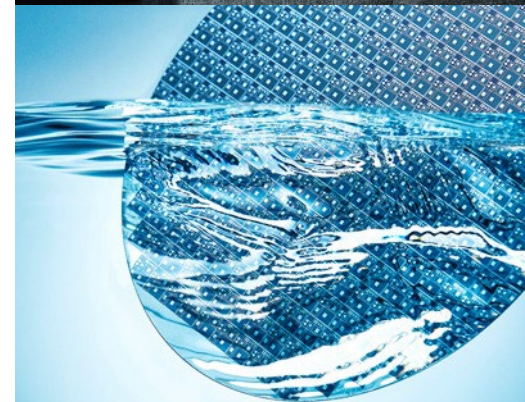
- 半導体関連製品の販売は堅調であったものの、塩ビ関連製品の海外市況下落等により、売上高は対前年同期比で減収
- 製造コストの改善が進んだこと等により、営業利益は対前年同期比で増益
- IVD/IVDM事業の買収は2025年10月1日にクロージング手続きが完了、2025年度下期より連結
- 通期業績予想は据え置くものの、上期の進捗およびIVD/IVDM事業の連結の影響を考慮し、セグメント別内訳を修正

CONTENTS

- ① 2026年3月期 第2四半期決算
- ② 2026年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2026年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	1,655	1,637	△17	△1	塩ビ関連製品の海外市況下落 半導体関連製品の販売堅調
営業利益	139	191	+51	+37	製造コスト改善 半導体関連製品の販売堅調
経常利益	136	189	+53	+39	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 中間純利益	116	121	+5	+4	経常利益の増加 特別利益の減少
1株当たり 中間純利益 (円)	161.81	168.81	-	-	-
為替 (円/\$)	153	146	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	77,500	64,600	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2025年3月末	2025年9月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,762	5,366	+604	現金及び預金の増加
自己資本	2,615	2,713	+98	親会社株主に帰属する 中間純利益の積み上げ
自己資本比率	54.9%	50.6%	△4.3pt	-
有利子負債	1,106	1,625	+519	コマーシャル・ペーパー および長期借入金の増加
D/Eレシオ	0.42	0.60	+0.18	-
ネットD/Eレシオ*	0.13	0.13	△0.00	-
1株当たり純資産 (円)	3,635.62	3,772.08	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

① 2026年3月期 第2四半期決算

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

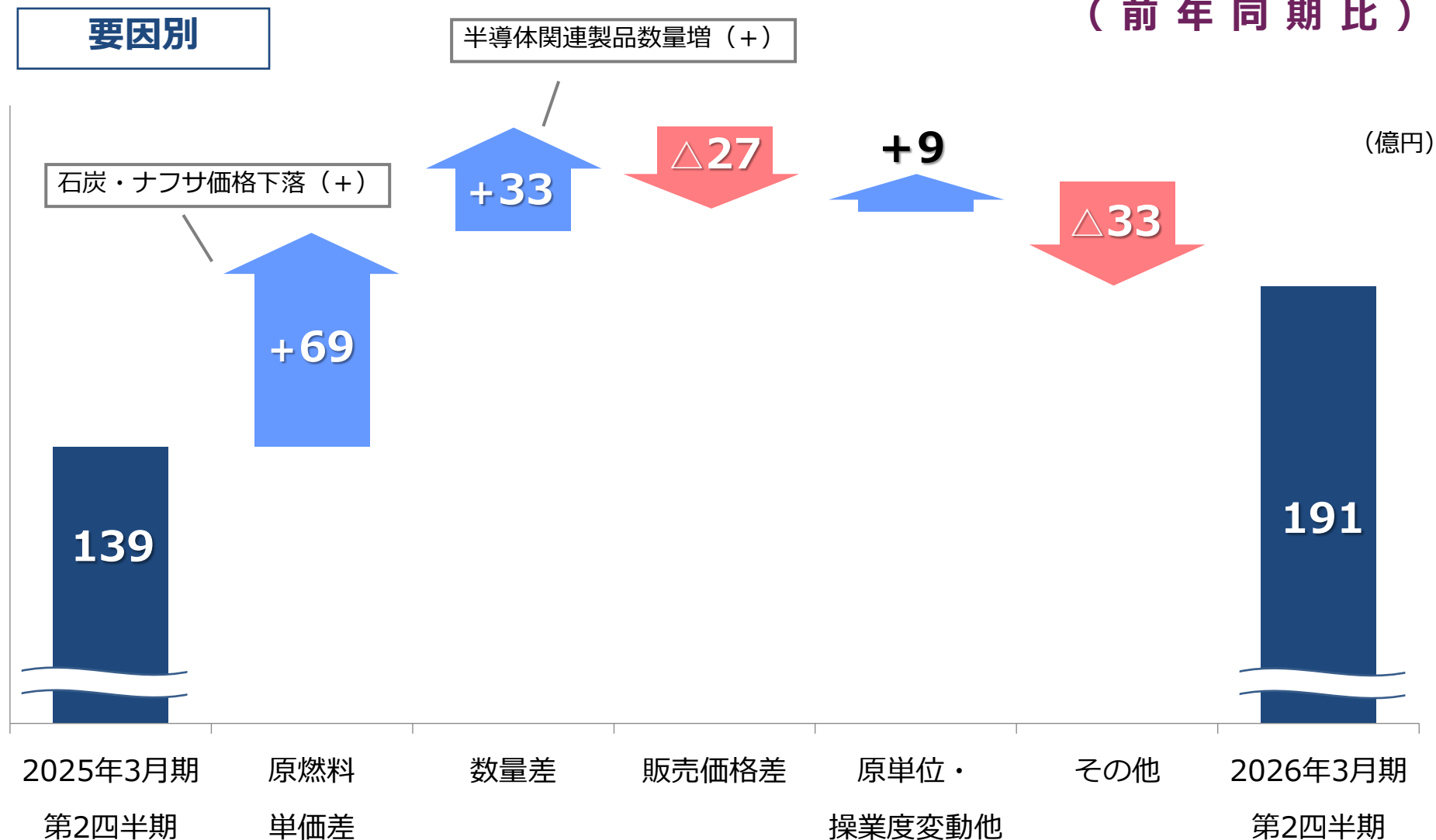
	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	572	52	523	56	△49	△9	+3	+7
セメント	322	36	324	48	+1	+0	+11	+31
電子先端材料	397	28	425	69	+28	+7	+40	+140
ライフサイエンス	200	38	192	40	△7	△4	+1	+4
環境事業	19	△2	26	2	+7	+38	+4	-
その他	192	18	201	13	+8	+4	△4	△26
計	1,705	173	1,694	230	△11	△1	+57	+33
セグメント間 消去・全社費用	△50	△34	△57	△39	△6	-	△5	-
連結決算	1,655	139	1,637	191	△17	△1	+51	+37

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

① 2026年3月期 第2四半期決算

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

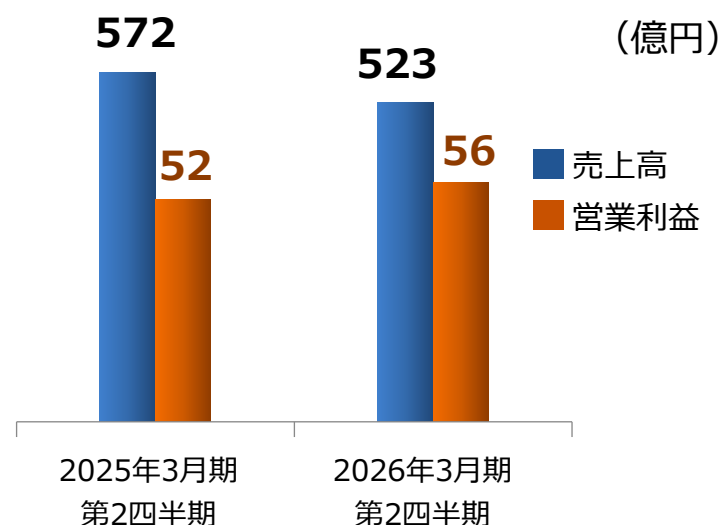


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

化成品

減収増益

定性情報



(苛性ソーダ)

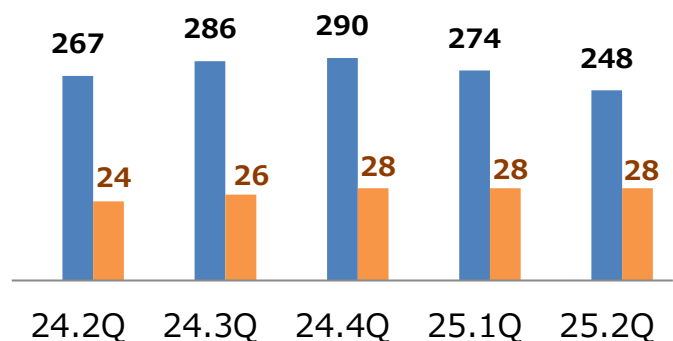
・輸出数量が減少したこと等により減益

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

・海外市況が下落した一方、塩化ビニル樹脂の国内の販売価格改定や製造コストの減少等により収益が改善

(ソーダ灰)

・販売数量は前年同期並みだったものの、物流費の増加等により減益

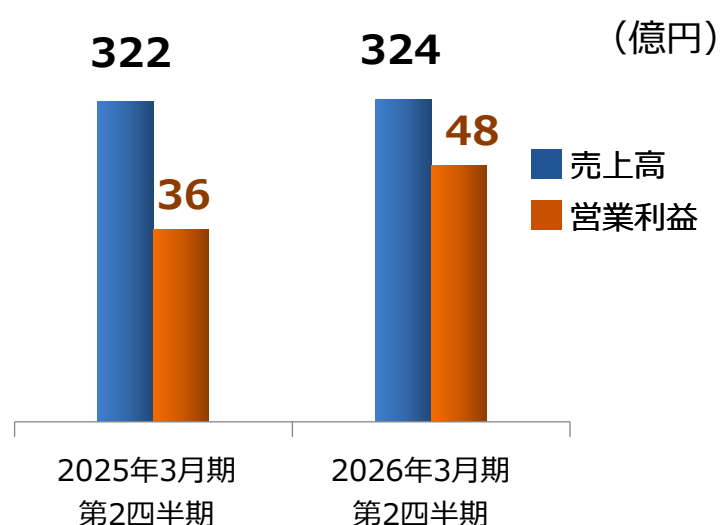


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

セメント

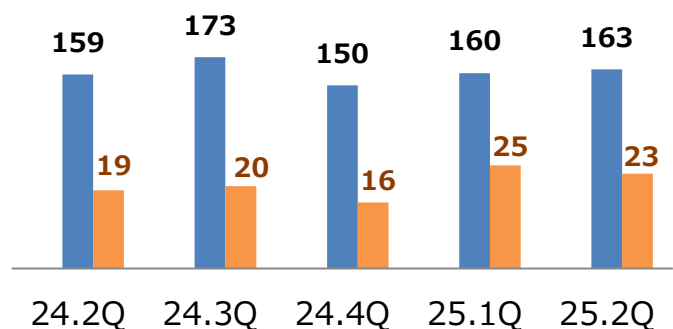
増収増益

定性情報



(セメント)

- 国内出荷が前年同期比で減少したものの、国内の販売価格改定と製造コストの改善等により増益

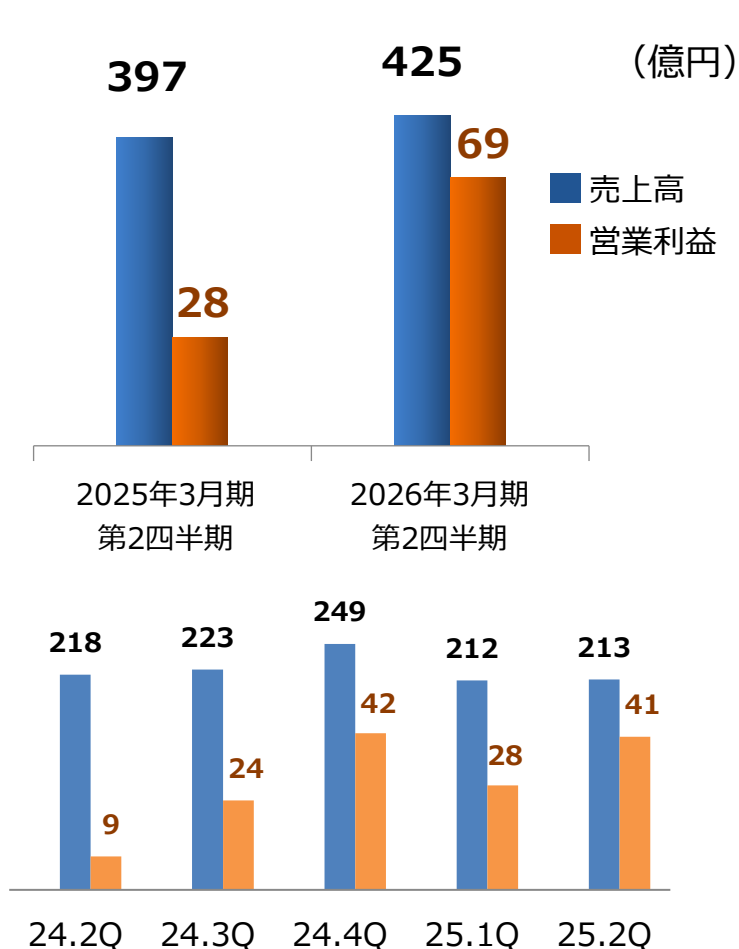


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

電子先端材料

増収増益

定性情報



(半導体向け多結晶シリコン)

- ・操業度の改善や、棚卸資産評価損の戻入を計上したこと等により増益

(ICケミカル)

- ・電子工業用高純度IPAの販売数量が増加したこと等により収益改善

(乾式シリカ)

- ・輸出数量が減少したこと等により減益

(放熱材)

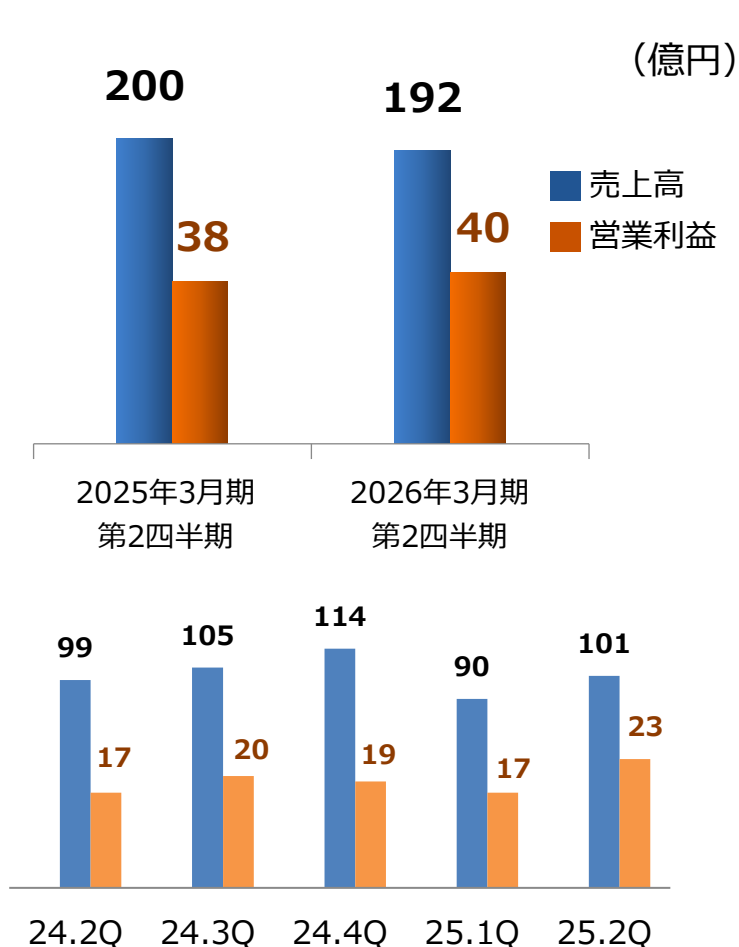
- ・半導体製造装置向けを中心に販売数量が増加したこと等により増益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

ライフサイエンス

減収増益

定性情報



(歯科器材)

- ・海外向けの出荷が堅調だったものの、拡販に向けた販売費の増加等により前年同期並みの業績

(医療診断システム)

- ・製品ミックスの変動および製造コストの増加等により減益

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・棚卸資産評価損の戻入を計上したこと等により増益

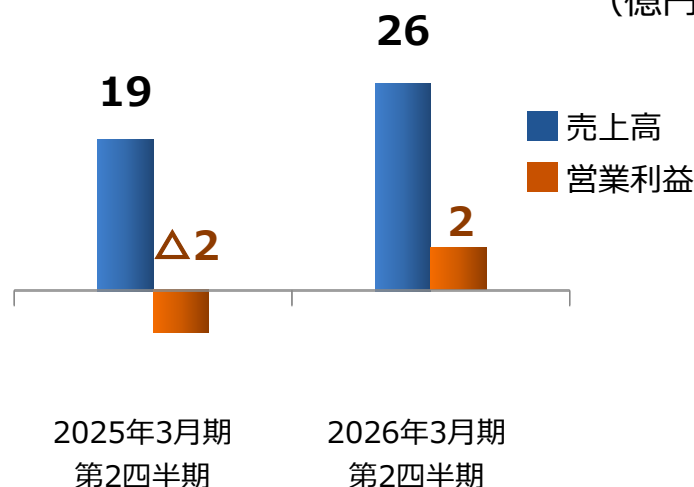
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

環境事業

増収黒字転換

定性情報

(億円)

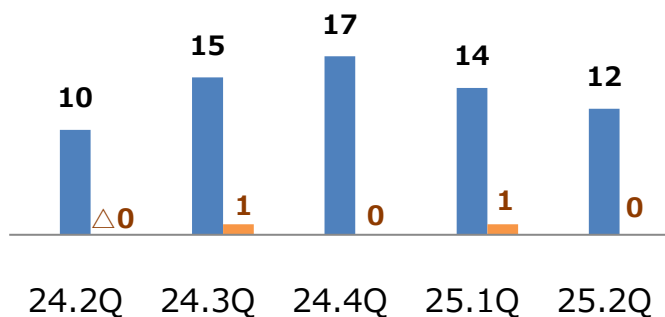


(イオン交換膜)

・膜および装置の出荷が増加したこと等により増益

(廃石膏ボードリサイクル)

・廃石膏ボード収集が堅調に推移し、前年同期並みの業績



② 2026年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想修正
3. 株主還元



1. 業績予想

'25/4/28公表値を据え置き

(億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,430	3,645	+214	+6	半導体関連製品・ヘルスケア関連 製品販売数量増
営業利益	299	415	+115	+38	半導体関連製品・ヘルスケア関連 製品販売数量増
経常利益	295	415	+119	+40	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 当期純利益	233	290	+56	+24	経常利益の増加
1株当たり 当期純利益 (円)	325.08	403.09	-	-	-
為替 (円/\$)	153	上期実績 : 146 下期前提 : 145	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	76,500	上期実績 : 64,600 下期前提 : 63,000	-	-	-

2. セグメント別業績予想修正

'25/4/28公表値から修正

(億円)

	2026年3月期 予想 (2025/4/28公表)		2026年3月期 予想 (2025/10/29修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,160	140	1,130	140	△30	△3	-	-
セメント	670	95	670	95	-	-	-	-
電子先端材料	1,000	140	1,000	140	-	-	-	-
ライフサイエンス	460	95	490	95	+30	+7	-	-
環境事業	65	5	65	5	-	-	-	-
その他	410	30	410	30	-	-	-	-
計	3,765	505	3,765	505	-	-	-	-
セグメント間 消去・全社費用	△120	△90	△120	△90	-	-	-	-
連結決算	3,645	415	3,645	415	-	-	-	-

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

通期業績予想は据え置くものの、上期の進捗およびIVD/IVDM事業の連結の影響を考慮し、セグメント別内訳を修正

3. 株主還元

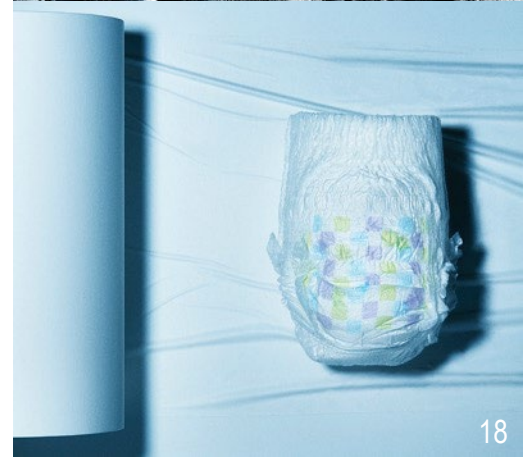
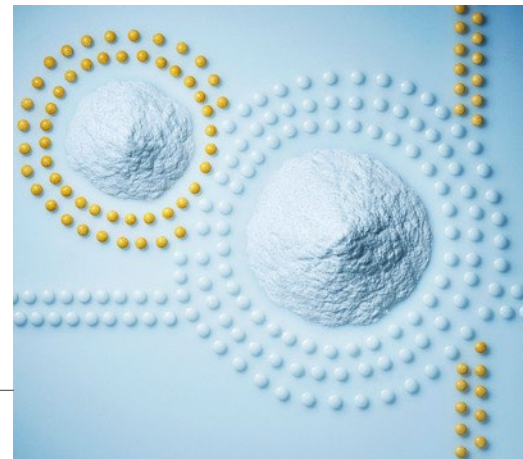
- 2026年3月期の中間配当は、予定どおり60円の配当を実施
- 期末配当も60円を予定

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
中間配当金（円）	35.0	35.0	35.0	35.0	50.0	60.0
期末配当金（円）	35.0	35.0	35.0	45.0	50.0	(60.0)
配当性向（%）	19.9	18.0	53.8	32.4	30.8	(29.8)
DOE（%）	2.6	2.4	2.3	2.5	2.9	(3.2)

DOE:期末時点の連結株主資本配当率

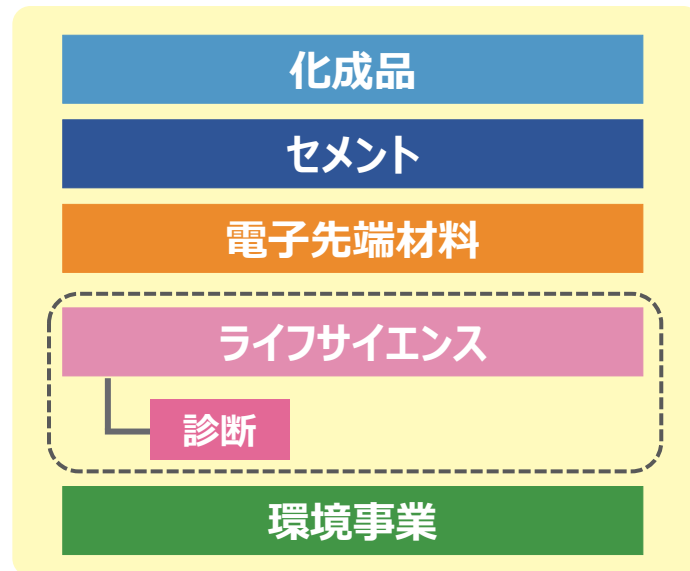
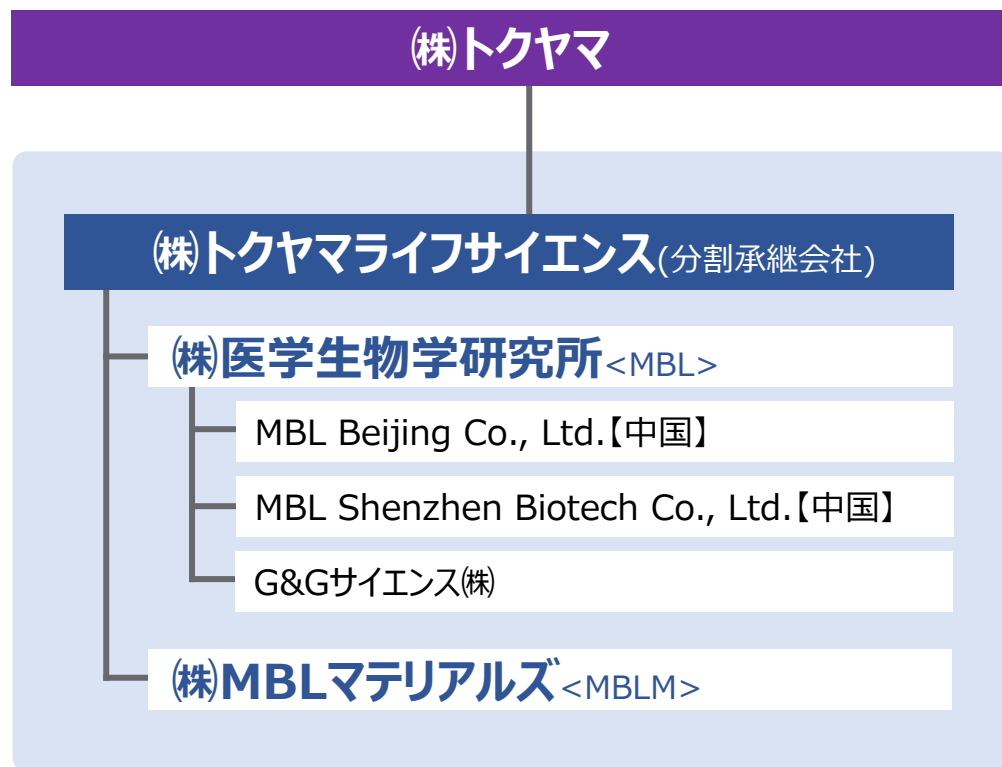
③ トピックス

1. IVDおよびIVDM事業の買収について



1. IVDおよびIVDM事業の買収について

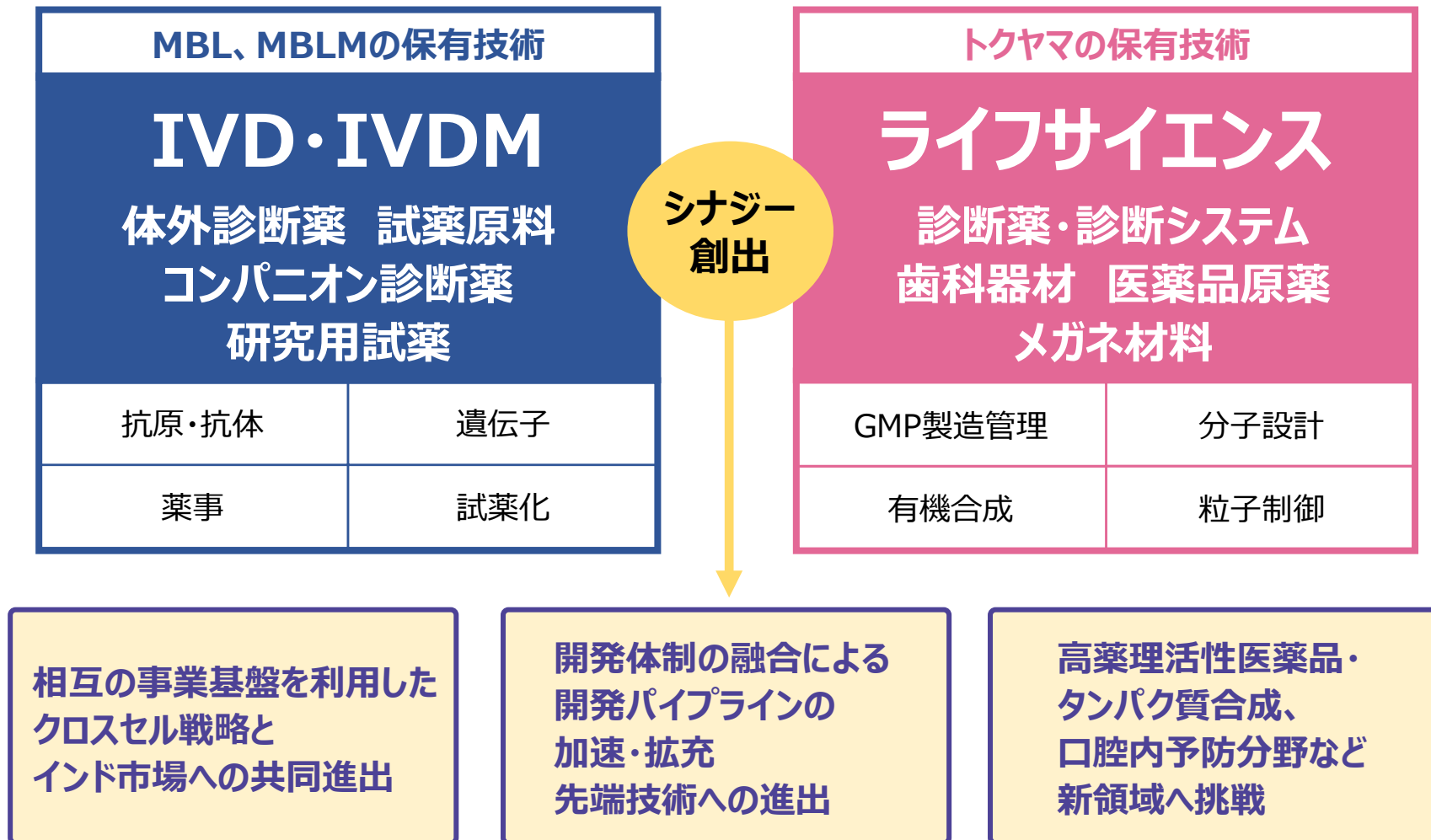
JSR株式会社のIVD・IVDM事業*の買収に関するクロージング手続きが
予定通り2025年10月1日に完了。分割承継会社の完全子会社化に伴い、
社名を「**株式会社トクヤマライフサイエンス**」に変更



*IVD・IVDM事業：体外診断用医薬品事業および体外診断用医薬品材料事業

1. IVDおよびIVDM事業の買収について

化学のトクヤマと診断薬のMBLの共創により、
最先端の診断技術の開発と、ライフサイエンス分野へ事業領域拡大を加速



もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 営業外損益・特別損益・金融収支
3. 投資実績・計画
4. 業績推移
5. セグメント別業績推移
6. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移
7. 有利子負債残高推移
8. キャッシュフロー推移



④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

損 益 計 算 書

（億円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	1,655	1,637	△17	△1
売上原価	1,131	1,043	+87	+8
販管費	384	402	△18	△5
営業利益	139	191	+51	+37
営業外損益	△3	△2	+1	-
経常利益	136	189	+53	+39
特別損益	31	△11	△43	-
税前中間純利益	168	178	+10	+6
法人税等	53	56	△2	△5
非支配株主損益	△2	△0	△2	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	116	121	+5	+4

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）

貸 借 対 照 表

（億円）

	2025年3月末	2025年9月末	増 減	
			金額	%
資産合計	4,762	5,366	+ 604	+ 13
流動資産	2,346	2,831	+ 485	+ 21
有形固定資産	1,722	1,757	+ 34	+ 2
無形固定資産	42	43	+ 0	+ 2
投資その他の資産	650	734	+ 83	+ 13

	2025年3月末	2025年9月末	増 減	
			金額	%
負債合計	2,023	2,509	+ 486	+ 24
流動負債	913	1,031	+ 117	+ 13
固定負債	1,110	1,478	+ 368	+ 33
純資産合計	2,738	2,857	+ 118	+ 4

2. 営業外損益・特別損益・金融収支

(億円)

		2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	4	6	+ 1
	その他	22	25	+ 3
	計	27	32	+ 4
営業外費用	支払利息	4	5	△ 1
	その他	26	28	△ 2
	計	30	34	△ 3
営業外損益		△ 3	△ 2	+ 1

特 別 利 益	36	7	△ 29
特 別 損 失	4	18	△ 14
特 別 損 益	31	△ 11	△ 43

金 融 収 支	0	0	+ 0
---------	---	---	-----

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

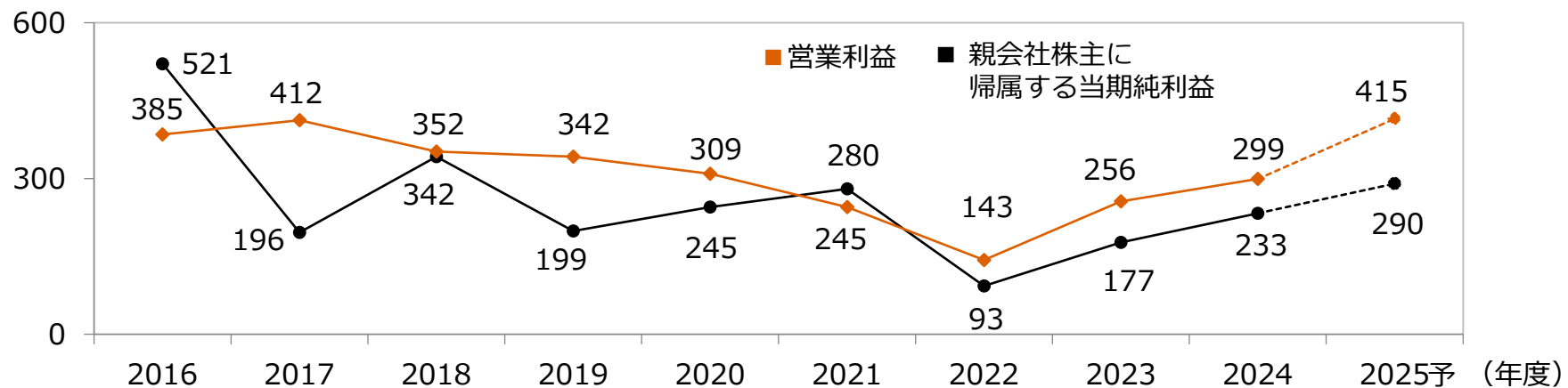
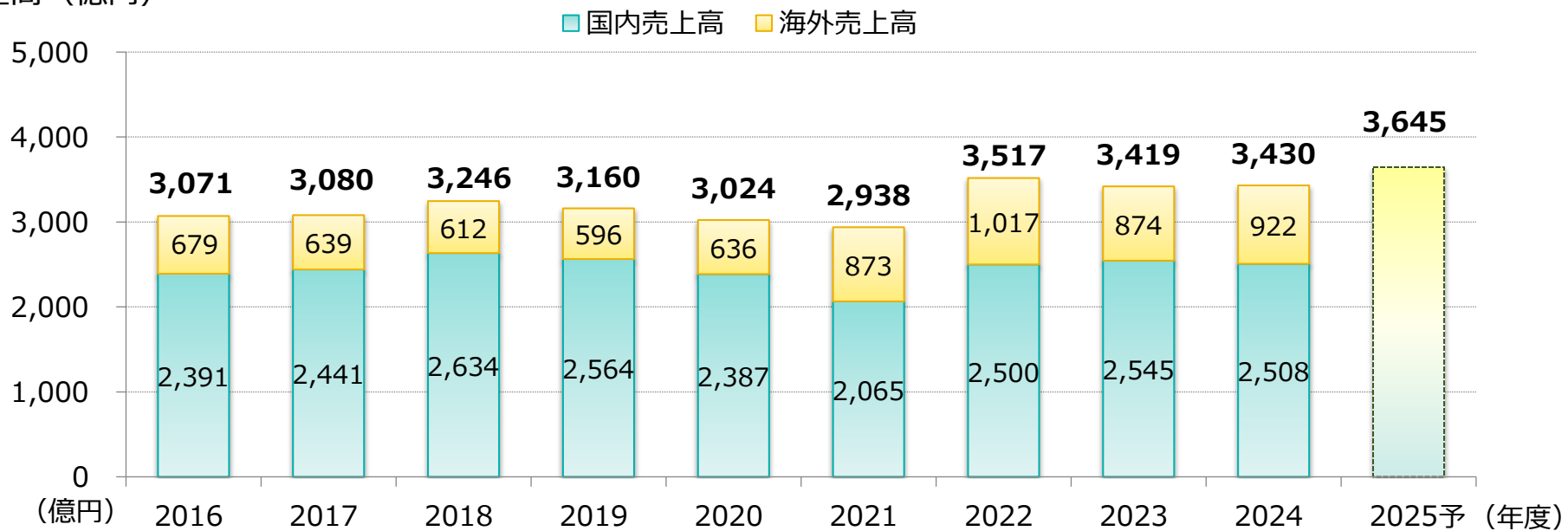
3. 投資実績・計画

(億円)

	2025年3月期		2026年3月期		増 減	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	上期	通期
設備投資額	95	246	120	356	+ 24	+ 109
減価償却費	95	196	98	212	+ 2	+ 15
研究開発費	80	160	81	188	+0	+ 27

4. 業績推移

売上高（億円）



5. セグメント別業績推移

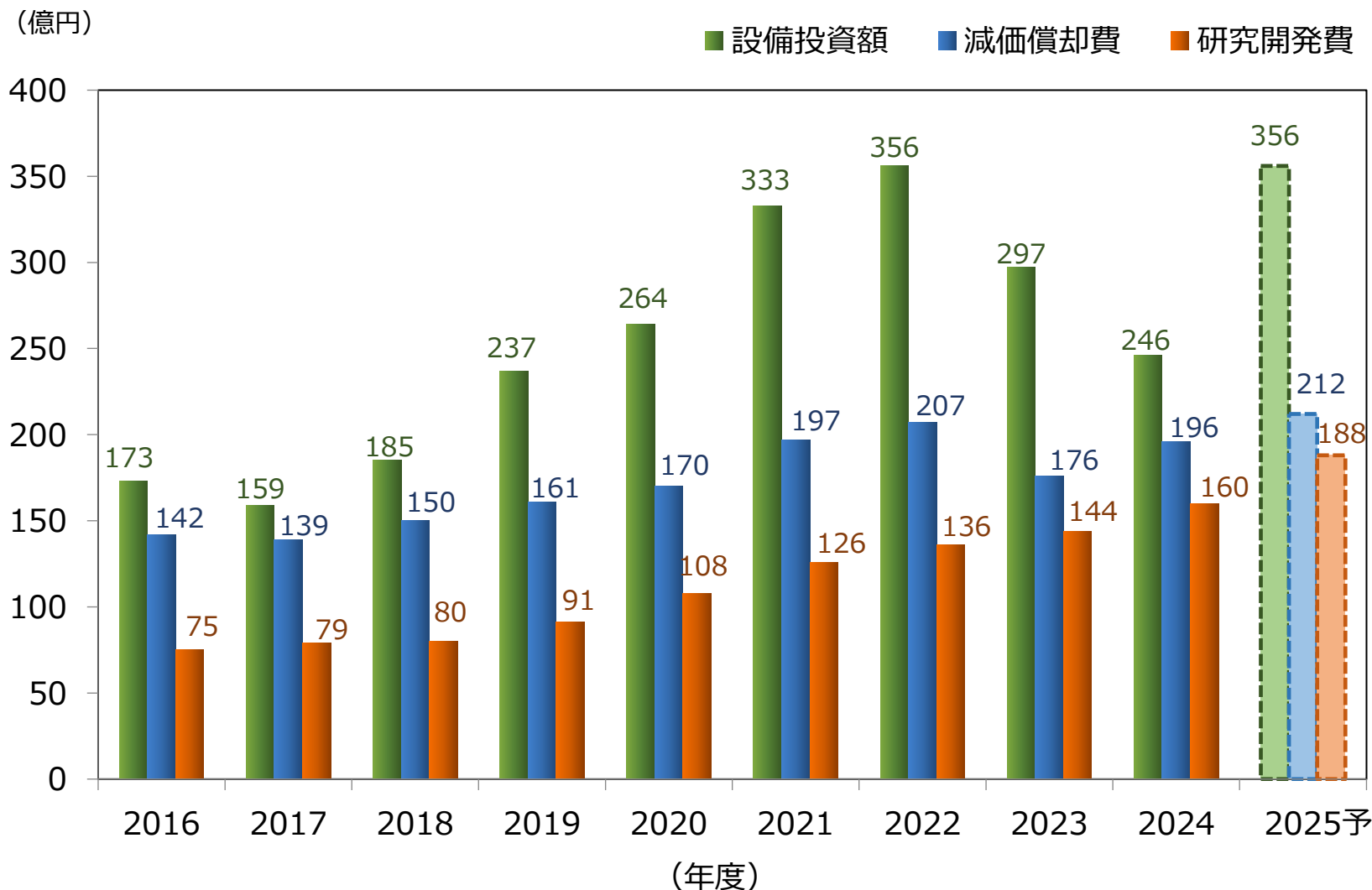
(億円)

売上高	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
連結決算	825	830	878	896	818	819
化成品	305	267	286	290	274	248
セメント	163	159	173	150	160	163
電子先端材料	178	218	223	249	212	213
ライフサイエンス	100	99	105	114	90	101
環境事業	8	10	15	17	14	12

営業利益	2024年度				2025年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
連結決算	75	64	71	88	78	112
化成品	27	24	26	28	28	28
セメント	17	19	20	16	25	23
電子先端材料	19	9	24	42	28	41
ライフサイエンス	20	17	20	19	17	23
環境事業	△1	△0	1	0	1	0

(注) 連結決算の数値にはその他セグメント・調整額を含む

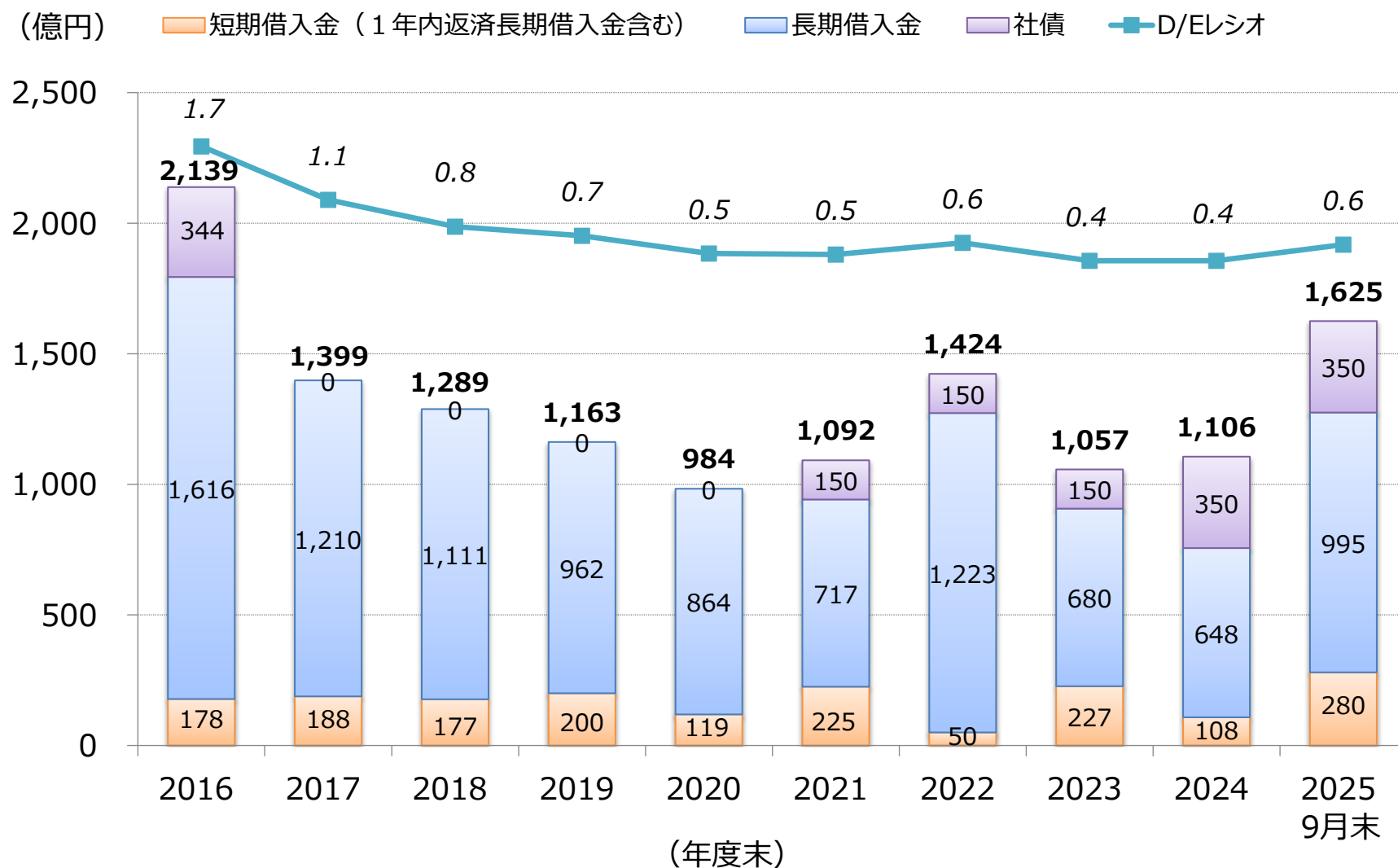
6. 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移



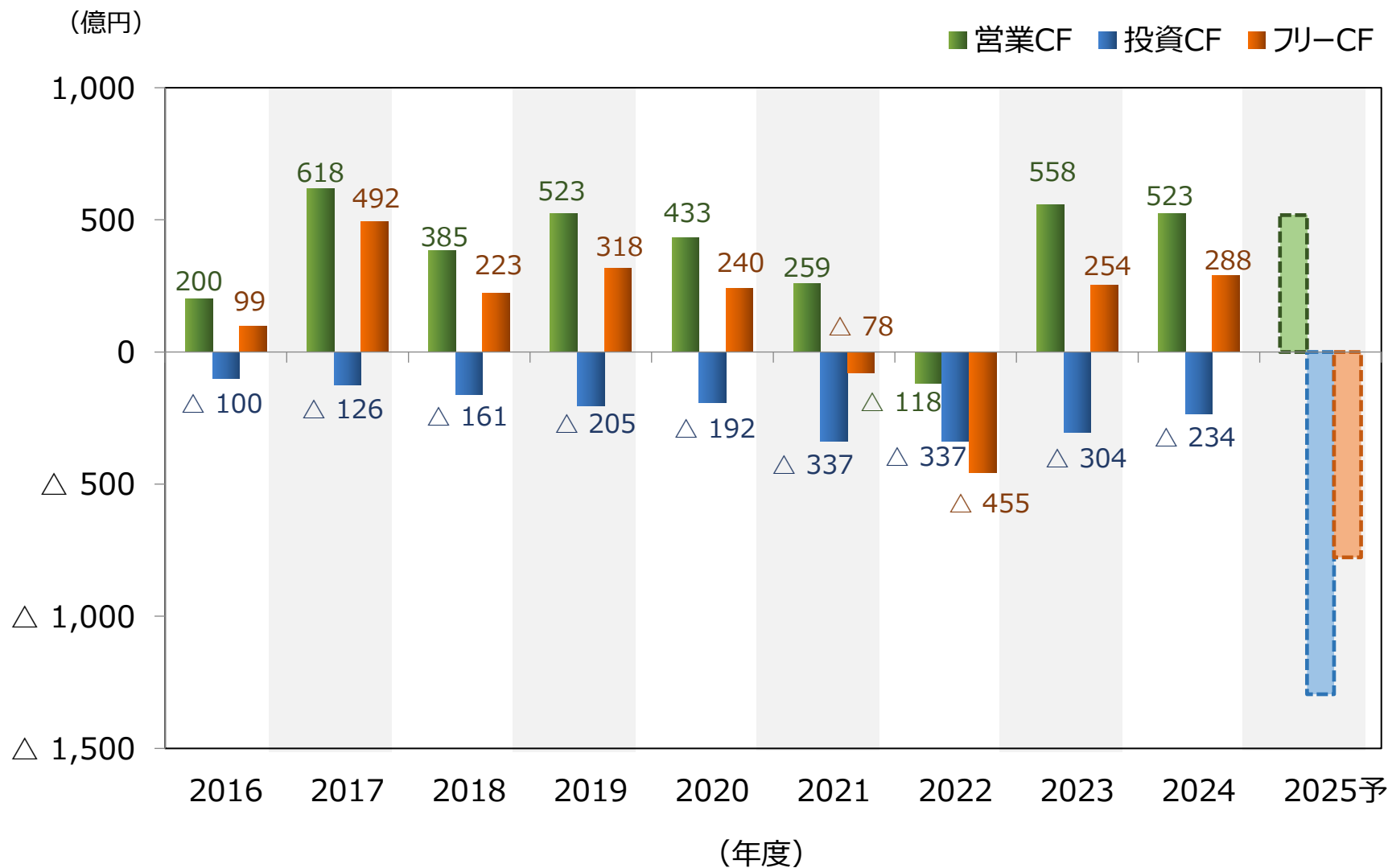
(注) 2023年度より、有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております

④ 補足資料

7. 有利子負債残高推移



8. キャッシュフロー推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、
何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したもので
ありますが、不確実性を含んでおり、
当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に
依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に
対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、
転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 